

平成十四年度

市内歴史探訪記

平成十四年八月十八日(日)、別府史談会市内歴史探訪が行われ、当日は約三十名が参加した。

午前九時、溝部学園のご厚意によるマイクロボス二台で新港町の花時計を出発、最初に溝部学園に到着した。



▲説明をする相良範子理事長

相良範子

理事長(別府史談会副会長)の説明を受けた後、刺繍展示室で約三十点の大型刺繍作品を見学した。この作品は毎年出品を

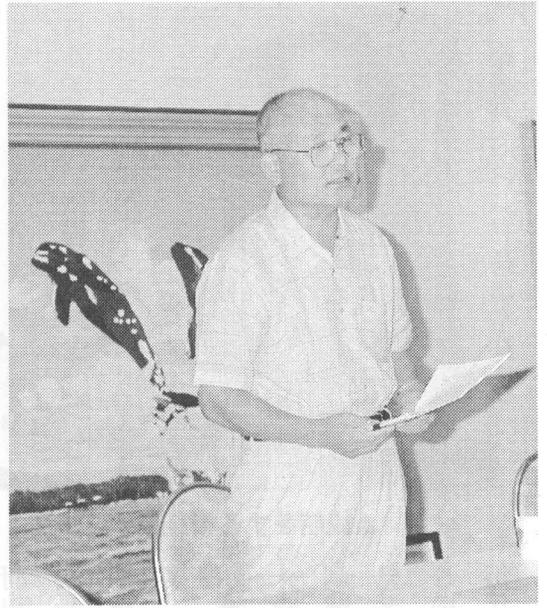


入れられている。

見学後、溝部学園会議室で別府史談元理事の土屋公照先生により『宇佐弥勒寺領「竈門荘」と荘領守、竈門八幡』についての講話があった。

講話の後、八幡竈門神社を見学した。この社は主祭神(仲哀天皇・応神天皇・神功皇后)の他に三三神を祀り、

続けている
「手工芸美術
展覧会」で常
に上位を獲得。
最高賞である
「文部大臣奨
励賞」は、短
大・附属高校
併せて二〇点
に及んでいる。
作品は、郷土
の歴史や観光
に関連した題
材が多く取り



▲説明する土屋公照先生

全国的にもまれな多祭神を祀る神社である。

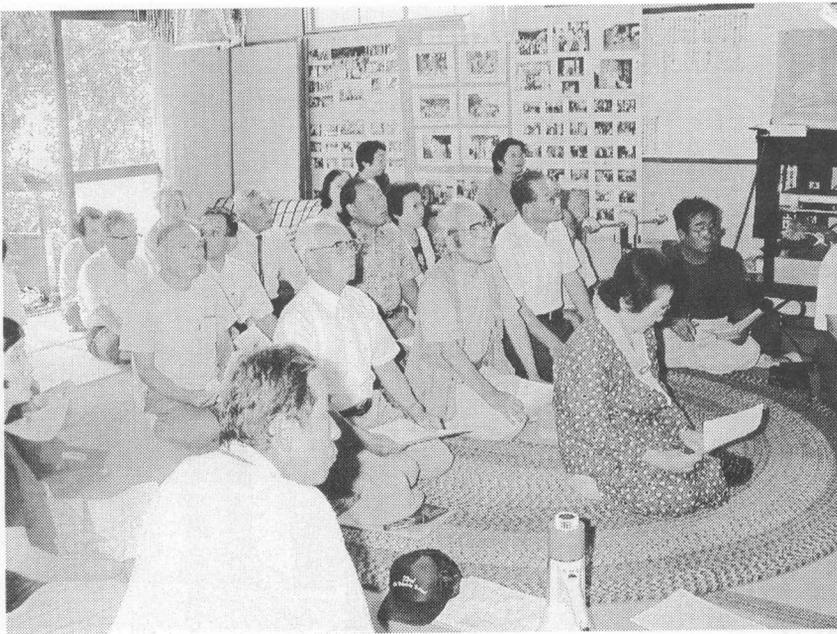
つぎに市内野田、竜巻地獄東側にある浄土宗長泉寺（薬師如来座像）を見学した。ここでは本堂内において芹川昭教住職の説明を受けた。正式の寺院名は朱湯山寛徳院長泉寺という（別項参照）。

さらに亀川浜田町へ行き、道路を隔てて建っている新旧の「浜田温泉」をバスから見学した。

つづいて四の湯町、平田橋近くの観音禅寺（黄檗宗）を見学した。ここでは本堂内において鳥越大寛副住職から説明を受け、裏山にある第十二代大友持直の五輪の塔

を見学した。この本尊、聖観世音菩薩立像は秘仏で三年ごとの御開帳という。

見学を済ませ、花時計に一四時頃到着後、解散した。



▲観音禅寺で説明を聴く